

# シームレスな連携

ロジクールがより良い Microsoft Teams  
体験をどう実現しているか



logicool®



## 概要

Microsoft のコミュニケーションとコラボレーションプラットフォーム、Microsoft Teams は広く使用されており、1日当たりのアクティブなユーザーが3億人をはるかに超えています。Microsoft Teams は、効果的なコミュニケーションのための高度な機能をソフトウェアとして搭載していますが、シームレスな体験を実現するにはハードウェアとソフトウェアが適切に連携するかどうか重要です。ロジクールは、会議室やワークスペース向けの優れた認定ソリューションを提供するハードウェアパートナーとして、会議室、デスク、および自宅で従業員に Microsoft Teams 環境を提供し、その体験をより良いものにする役割を担っています。

ロジクールは、機能が豊富なビデオ会議、すべての会議参加者の公平な体験、会議室への柔軟な導入、ハイブリッドワークのサービス提供、きめ細かいIT管理ツールを通じて、組織が Microsoft Teams 体験の可能性を最大限に引き出せるよう支援します。ロジクールがより良い Microsoft Teams 体験をどう実現しているかををご紹介します。



## 公平な会議の実現：全員の姿と声をはつきり相手に伝えられる

Microsoft Teams は、コミュニケーションとコラボレーションの中心的存在として、会議スケジュール作成、ビデオ会議、チャットなどの豊富な機能を備え、効果的なコミュニケーションと情報交換を促進します。しかし参加者全員の姿と声をクリアに届けるにはどうすればよいのでしょうか。

ロジクールビデオ会議ソリューションは、公平な会議を実現する最先端のソリューションであり、どこから参加しても全員に公平な会議体験をできるようにします。Rally Bar、Rally マイクポッドエコシステム、ロジクール Sight などの革新的な機能を豊富に搭載したデバイスにより、会議参加者全員の姿と声を公平に届けることができます。

Rally Bar ファミリーの機能から始めましょう。Rally Bar、Rally Bar Mini、Rally Bar Huddle は、4K 解像度と最大4倍のHDデジタルズーム、話者または会議室内全体のAIによる自動フレーミング、明瞭なサウンドとノイズ抑制機能を備え、会議室内の各参加者の映像と音声を公平に伝えることができます。

すべての Microsoft Teams Rooms のサイズやレイアウトが同じというわけではありません。さまざまなタイプの会議室に対応するために、追加の周辺機器が必要な場合があります。たとえば、Rally マイクポッドシステムは、会議室前方のマイク1本では不十分な広い会議室でも、集音範囲を広げることができます。これにより、組織は、会議室の各参加者の声を均等に拾うことができるように、会議室の各所にマイクを戦略的に配置することができます。Rally マイクポッドにはさまざまな取り付けオプションとアクセサリが付属しており、マイク構成をカスタマイズできます。

Teams 会議を大きな長方形のテーブルで行う場合、会議室前方にのみカメラがあるソリューションでは、前に座っている参加者の姿が重なってカメラの視界を遮られてしまい、公平に各参加者の姿を捉えるのが難しい場合があります。その問題を解決するのが、テーブル中央に配置されたカメラとマイクとして機能するロジクール Sight です。ロジクール Sight は、テーブルの中央からの視点を追加し、会議室内の参加者の姿を正面から捉えることができます。

Microsoft IntelliFrame は、AIオンライン会議体験で、会議の種類に合わせて体験をカスタマイズできる、インテリジェントなフレーミングやさまざまなカメラモードを備えています。Microsoft Teams が会議

のフレームワークとソフトウェア機能を提供しますが、参加者の体験を強化するのはロジクールのカメラです。

Rally Bar ビデオバー内のソフトウェアは話者ビューを実現する話者追跡テクノロジーを提供します。また、人の顔を検出するテクノロジーが Microsoft の会議室ビューを可能にし、ロジクール Grid View テクノロジーが Composite View を利用し、最大 4 名の参加者を個別のギャラリーフレームに分割して表示することができます。



## ロジクールコンテンツ カメラでコンテンツ共有を簡単に

会議中のコンテンツ共有は、会議室とデスクの両方で行う必要があります。Microsoft Teams は、ユーザーが自分の画面や追加のコンテンツカメラからコンテンツを共有できるシンプルなインターフェイスを提供します。ロジクールは、Teams でスムーズに共有を行える優れた画質と使いやすい機能を備えたデバイスを提供しています。

コンテンツ共有ソリューションには、AI 搭載のデジタルホワイトボードであるロジクール Scribe が含まれています。板面の内容をビデオ会議で簡単かつ鮮明に共有できます。Scribe は、コンテンツの改善、付箋紙の検知、プレゼンターの透過を実現し、デジタルホワイトボードのレベルを引き上げます。

ロジクール Reach は調節可能なコンテンツカメラで、デスクまたはテーブルでコンテンツを共有しているユーザーがカメラを垂直、水平、および 360 度回転させることで、他の参加者に見せたい非デジタルコンテンツが全員に見えやすくなります。



## リモートからの参加者への支援：自宅からのクリアなコミュニケーション

従業員がオフィスや自宅から参加するハイブリッドワーク環境では、Microsoft Teams があらゆる拠点にまたがるコラボレーションの中心的役割を果たします。リモートからの参加者はホームオフィスから会議に参加することを想定して、ロジクールは、Teams 会議中の在宅勤務の従業員の映像や音声、会議体験を改善する多数のパーソナルワークスペースソリューションを提供します。

様々なロジクールウェブカメラは、ハードウェアとデバイスのインテリジェンスを提供し、参加者がクリアに表示されます。ロジクールのウェブカメラは、1080p および 4K 品質、使いやすいコントロール機能、光補正、および Logi Tune ソフトウェアによる自動フレーミングや話者の追跡機能などのカスタマイズオプションを提供します。Brio 505 や 705 などのウェブカメラは、AI 画像補正機能を備え、条件の良くない照明環境下でも細部を2倍精細に映し出します。

ロジクールは、リモートワーカーが非常にクリアな音声で通話できるように設計された様々なヘッドセ



ットも提供しています。Zone Wireless 2 などのワイヤレスヘッドセットはノイズキャンセリング機能を備えているため、集中力が高まります。ロジクールは、定評のあるノイズキャンセリングマイク、アクティブノイズキャンセレーション、没入型サウンドを備えた、ビジネス用途に適した Zone True Wireless イヤホンも提供しています。

Logi Dock は、さまざまな機能を一台にまとめた一体型の USB-C ドッキングステーション兼スピーカーフォンです。在宅勤務中の従業員が、ワンタッチで Teams 会議に参加でき、オーディオとビデオの切り替えも Logi Dock 上のボタンで直接可能です。



## Microsoft Teams を使用して効率的な会議室とデスクの予約を行う

会議中、および Teams クライアントで使用されるコラボレーションツールに加えて、Microsoft Teams 環境では、オフィス全体のスペースの予約も可能です。ロジクールの一連の予約ツールを使用すると、会議室とデスク用の予約専用パネルを使用し予約状況を表示したり、従業員による臨時の予約をしたりできるようになり、予約をより快適なものにします。

会議室から始める：Tap Scheduler は、会議室の外に取り付けるように設計された専用のスケジューリングパネルです。従業員は簡単に会議の詳細を確認

したり、臨時の会議や予定された会議のために会議室を予約したりできます。Tap Scheduler を使用すると、ユーザーは会議室の前まで行くだけで会議の詳細と空き状況を確認でき、Teams クライアントから、またはその場で Tap Scheduler を使用して会議室を予約できます。

デスク用：Logi Dock Flex は、共有ワークスペース向けに設計されたドッキングステーションです。デスクを簡単に予約して、ケーブル1本でノート PC を接続できます。Logi Dock Flex には、デスクの使用状況を確認できる8インチのディスプレイが搭載されており、Microsoft Teams とシームレスに連携します。周辺機器を接続し、デュアルモニターにすることも可能です。





## あらゆる会議スペースに対応する柔軟な導入オプション

サインオンする場所に関係なく、会議の参加者にロジクールのハードウェアと Microsoft Teams がクリアな映像と音声を届けることをご紹介します。ただし、会議室は非常に多様であり、Microsoft Teams Rooms のハードウェアに関して言えば、すべてに対応できる万能のソリューションはありません。会議室ごとに、別々のベンダーを探し回ると、IT部門による導入はさらに困難になります。

会議室のサイズに合わせて、別々のベンダーを探すのではなく、IT 担当者はロジクール製品を利用することで、会議室のハードウェアに必要なすべてのニーズを満たし、会議室のサイズ、レイアウト、規模に関係なく各会議スペースを統一することができます。

Teams 会議はさまざまな環境で開催されます。ロジクールは、さまざまなニーズに応えるソリューションを提供しています。

### BYOD (Bring your own device)

ロジクール MeetUp ビデオバーおよびその他のカメラは、ノート PC を使用するユーザーに簡単なプラグ&プレイ機能を提供します。Microsoft Teams による共有ディスプレイモードなどの機能により、BYOD 体験がさらに改善されます。

### Windows版 と Android版

ロジクールのポートフォリオはすべて、Teams Rooms on Windows と Teams Rooms on Android の両方で認定され、会議室テクノロジーへの投資を最大限に活用できます。

### あらゆるサイズの会議室

一体型ロジクール Rally Bar には、大、中、小会議室向けの様々な取り付けオプションと導入オプションがあります。

- **Rally Bar Huddle:** 小規模なハドルルーム
- **Rally Bar と Rally Bar Mini:** 中～大会議室
- **Rally マイクポッド:** 追加のマイクを会議室内に戦略的に配置することが可能です。参加者が分散している大会議室では特に有用です。

### 複雑な会議室

大規模な会議室または複雑な会議室向けに、ロジクールではクリアな音声と映像を実現するための周辺機器を幅広くご用意しています。

- **Sight:** 会議テーブルの中央に設置するカメラを追加することで、広い会議スペースでカメラのカバー範囲とマイクの集音範囲を拡張
- **Rally マイクポッドシステム:** 様々な導入のオプションを備えた集音範囲を拡張できるマイク
- **Scribe:** プレゼンターの透過、色補正などの機能を備えたホワイトボードカメラ

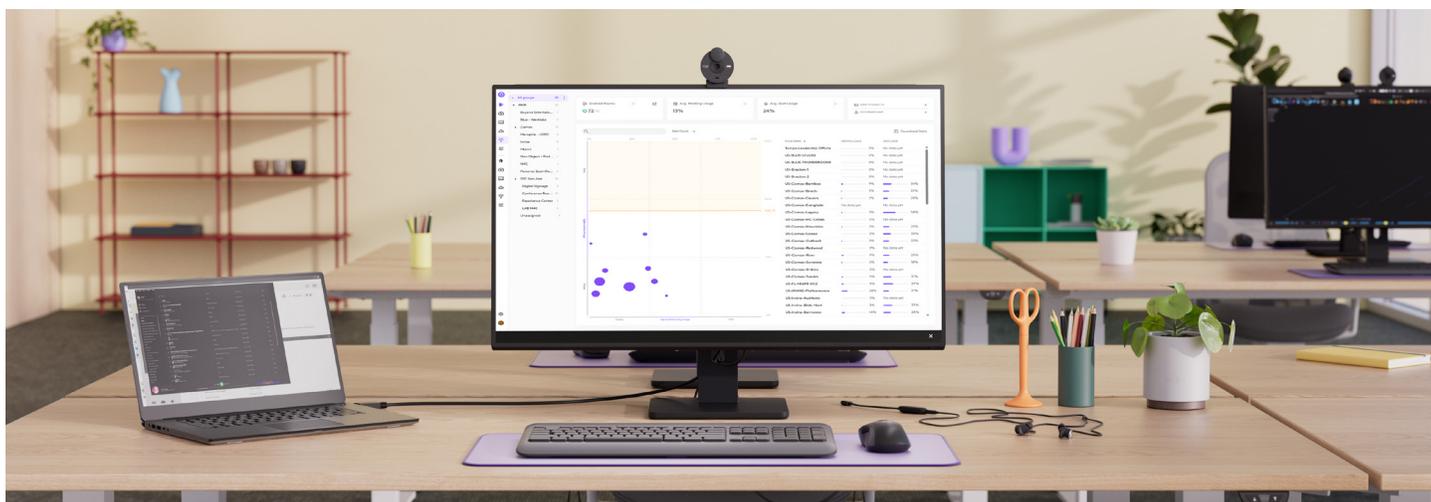
## 詳細なコラボレーション用のインサイトの活用

Microsoft Teams Pro Teams ポータルはデバイスの監視と管理のための基盤です。ロジクールは会議室とデバイスの分析を提供し、IT部門はワークスペース体験と不動産に関して、より多くのデータに基づく意思決定を行えます。

Teams Pro 管理ポータルは、そのまま単独でも使用できます。監視、更新、アラート、分析の包括的機能が単一のペインに収まっています<sup>2</sup>。

さらに、ロジクール Sync によって、IT プロフェッショナルはデバイス管理を一段上のレベルに引き

上げることができます。IT 部門は、Sync 内で直接カメラのフレーミング速度、カバー範囲、その他の設定を調整することで、コラボレーション体験を微調整できます。これにより、会議室の枠を越えて、より深い洞察とソリューションをチームに提供できます。Sync を使用することで、職場の施設管理部門は、購入や不動産に関するより多くのデータに基づいた意思決定を行うことができます。Sync 内の使用状況データを分析して、十分に使用されていないスペースを特定したり、コラボレーションのニーズに基づいて理想的な会議室のサイズを決定したりできます。



## 結論

ロジクールビデオ会議ポートフォリオと Microsoft Teams の連携により、コラボレーション体験が向上し、あらゆる規模の組織でシームレスなコミュニケーションと高い生産性を実現します。革新的なロジクールソリューションを活用することで、組織は Microsoft Teams の可能性を最大限に引き出し、誰も取り残されない効率的なコラボレーションを実現できます。

logicool

販売代理店または当社（[www.logicool.co.jp/business](http://www.logicool.co.jp/business)）までお問い合わせください

購入前のお問い合わせ：  
株式会社ロジクール  
<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/business/contact-b2b.html>

購入後のお問い合わせ：  
株式会社ロジクール  
カスタマーリレーションセンター  
<https://prosupport.logi.com/>

このホワイトペーパーは、情報提供のみを目的としています。ロジクールでは、このホワイトペーパーに記載された情報に関して、明示または黙示または法定を問わず、いかなる保証も行いません。このホワイトペーパーは「現状有姿」で提供され、ロジクールによって随時更新される可能性があります。最新版はロジクールウェブサイトをご覧ください。

© 2024 Logitech, Logicool. All rights reserved.

発行：2024年4月

logicool